

カーボンニュートラルの鍵：断熱改修を可視化する キャンパス社会実験の効果検証と波及効果



2026年 1 月 14 日(水)

12:30-14:10

宇都宮大学 峰キャンパス
UUプラザ2階

事前申込み要
(×切2026/
1/12)
先着50名



<https://forms.gle/opBdiFqG6E8PM12W8>

寒い冬。熱を逃さず暖かい場所で過ごすのは、幸せなカーボンニュートラルへの道。既存技術によるエネルギー効率化を進めれば、小さなエネルギーで豊かなくらしは可能です。そこで、本研究室は、宇都宮大学峰キャンパスを舞台に、築年数の高い既存ビルの断熱改修を社会実験的に進めてきました。研究教育目的として、NGOや企業とも連携し、学生も参加型で進めたこの事業から、どのような環境・経済・社会効果が生まれたのでしょうか。大学や地域へ、どのような波及効果が期待できるのでしょうか。大学生・NPO・企業・団体、そして行政の方々と共に語り合いませんか。（参加無料）

■ 当日のプログラム案 ■

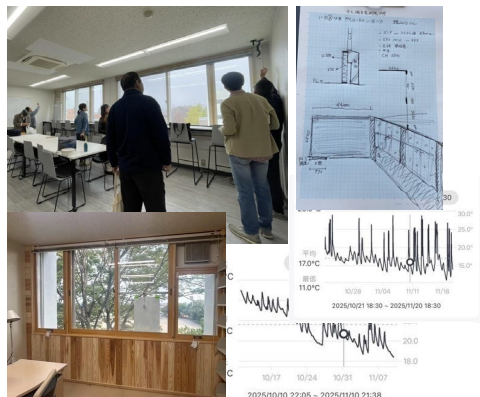
開会挨拶 吉澤史昭（宇都宮大学 総括理事（戦略企画・社会共創担当）・副学長）

趣旨説明 吉田登志幸（Forward to 1985 Energy Life）
高橋若菜（宇都宮大学 国際学部教授）

実証データと効果検証の発表（20分）

今出善久（NPO、エネルギー管理士）＋大学生たち

ワークショップ 効果検証への感想と波及効果への展望
キャンパス・職場・家庭でできる対策



主催：国際学部附属 多文化公共圏センター UU3S（Sustainability Solutions and Synergies）Project

共催：地域経営研究会地域CN部会

協力：一般社団法人 Forward to 1985 Energy Life、NPO法人うつのみや環境行動フォーラム、
株式会社ルクラスイノベーション、宇都宮大学施設課

支援：大学コンシームとちぎCN推進教育プログラム支援事業、宇都宮大学学長裁量経費

問合せ：国立大学法人宇都宮大学 地域創生推進機構 地域経営研究会事務局（社会共創促進センター内）

TEL：028-649-5502

E-mail：rmw-uu@a.utsunomiya-u.ac.jp